



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年3月11日

上場会社名 レオン自動機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111
 管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 2022年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	19,691	19.5	1,125	14.1	1,302	15.0	1,248	4.0
2021年3月期第3四半期	16,481	△18.5	986	△53.8	1,132	△48.8	1,200	△23.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,456百万円(34.1%) 2021年3月期第3四半期 1,086百万円(△34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	46.60	46.49
2021年3月期第3四半期	44.79	44.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	36,085	27,617	76.3	1,027.56
2021年3月期	34,124	26,632	77.8	991.12

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 27,543百万円 2021年3月期 26,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2022年3月期	—	8.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,560	19.2	1,110	△20.9	1,320	△18.6	930	△42.2	34.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	28,392,000株	2021年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,587,105株	2021年3月期	1,593,686株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	26,802,255株	2021年3月期3Q	26,798,533株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の発出により、個人消費や企業の生産活動は様々な制約を受けました。期間の後半はワクチン接種の拡大や政府の景気対策により経済活動の回復が進みました。海外経済におきましては、欧米諸国を中心に新型コロナウイルスワクチン接種の進展により一旦は経済活動が回復しましたが、新たな変異株の出現による感染拡大に歯止めがかからず、依然として予断を許さない状況が継続しています。中国では景気回復に合わせて設備需要が回復しましたが、新型コロナウイルス感染症対策としての活動制限が繰り返されたことや不動産市況の悪化など、経済成長にかげりが見えてきました。また、原材料や原油価格の急騰、市販部品の調達環境の悪化、コンテナ不足による輸出への影響が顕在化しており、来期に入っても影響は続くものと想定されます。

当社グループが主要市場とする食品業界は、新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き大きく受けました。コロナ禍における新しい生活様式に基づく消費者需要の変化に対応して、コンビニ・スーパー業界は堅調に推移しましたが、パン・菓子類の製造に不可欠な小麦粉やマーガリン等の価格高騰により製造原価が上昇し、商品価格の値上げの動きが多く見られるようになりました。観光客の激減が続いた観光土産物業界や、営業自粛の状況が継続した飲食業界は厳しい状況が続いています。

また、当社グループは、食の安心・安全へのニーズの高まりに対応すべく、レオロジー（流動学）を基礎とする独自の開発技術をベースに、安全面や衛生面の機能性を向上させるソフト技術を充実してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響が想定以上に長期間にわたり継続しておりますが、お客様や従業員の安全面を最優先に確保したうえでの営業活動を継続し、国内外の食品業界への提案を継続してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は19,691百万円（前年同四半期比19.5%増）、営業利益は1,125百万円（前年同四半期比14.1%増）、経常利益は1,302百万円（前年同四半期比15.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,248百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、製パンライン等、仕入商品の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上は増加しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は6,929百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は1,742百万円（前年同四半期比32.3%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比29.5%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが106円12銭から111円10銭と4.7%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,558百万円（前年同四半期比35.6%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は102百万円（前年同四半期比175.9%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、製パンライン等の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比2.1%増加となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが122円37銭から130円62銭と6.7%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,603百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は287百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加しました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は2,115百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は624百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比38.9%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復したことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが106円12銭から111円10銭と4.7%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は6,114百万円（前年同四半期比45.4%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は材料費の高騰により売上原価が増加、運送費の高騰により販売費及び一般管理費が増加したことにより、セグメント損失は285百万円（前年同四半期はセグメント利益95百万円）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は369百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は58百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,249百万円増加し、19,210百万円となりました。当社が手許資金の充実に努めたため、現金及び預金が1,678百万円増加、仕掛品が775百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて288百万円減少し、16,875百万円となりました。これは、ソフトウェアの減価償却費により、無形固定資産が238百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,961百万円増加し、36,085百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,153百万円増加し、6,231百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が570百万円増加、前受金が743百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて176百万円減少し、2,236百万円となりました。これは、長期借入金が43百万円増加、繰延税金負債が219百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて976百万円増加し、8,468百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて984百万円増加し、27,617百万円となりました。これは、利益剰余金が766百万円増加、為替換算調整勘定が248百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の経済動向を勘案し、2021年11月8日に公表した2022年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2022年3月11日)公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,484,219	9,162,683
受取手形及び売掛金	2,690,355	2,620,185
商品及び製品	4,170,084	4,189,040
仕掛品	975,989	1,751,141
原材料及び貯蔵品	328,369	436,640
その他	1,326,759	1,069,192
貸倒引当金	△14,548	△18,305
流動資産合計	16,961,228	19,210,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,017,115	15,305,708
減価償却累計額	△7,737,700	△8,103,282
建物及び構築物（純額）	7,279,414	7,202,425
機械装置及び運搬具	7,931,499	8,150,855
減価償却累計額	△6,380,314	△6,742,704
機械装置及び運搬具（純額）	1,551,185	1,408,151
工具、器具及び備品	1,924,816	1,948,668
減価償却累計額	△1,728,089	△1,788,402
工具、器具及び備品（純額）	196,726	160,265
土地	4,093,968	4,099,764
リース資産	45,286	45,286
減価償却累計額	△42,045	△43,914
リース資産（純額）	3,241	1,372
建設仮勘定	35,058	222,713
有形固定資産合計	13,159,594	13,094,692
無形固定資産	1,463,960	1,225,753
投資その他の資産		
投資有価証券	976,863	901,820
退職給付に係る資産	1,407,227	1,451,470
その他	161,992	205,740
貸倒引当金	△6,036	△4,060
投資その他の資産合計	2,540,046	2,554,970
固定資産合計	17,163,601	16,875,416
資産合計	34,124,830	36,085,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	740,599	1,310,865
短期借入金	734,006	975,730
リース債務	2,334	835
未払費用	587,624	519,797
未払法人税等	231,165	301,548
前受金	1,205,429	1,949,302
賞与引当金	485,486	320,893
役員賞与引当金	11,600	18,370
未払金	959,295	522,842
その他	121,154	311,556
流動負債合計	5,078,696	6,231,743
固定負債		
長期借入金	1,406,934	1,450,609
リース債務	1,154	690
繰延税金負債	573,083	353,482
再評価に係る繰延税金負債	347,422	347,422
資産除去債務	36,240	36,260
その他	48,705	48,406
固定負債合計	2,413,540	2,236,872
負債合計	7,492,237	8,468,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,069,407	7,075,427
利益剰余金	14,591,084	15,357,410
自己株式	△773,996	△771,088
株主資本合計	28,238,245	29,013,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	345,996	289,659
土地再評価差額金	△1,708,996	△1,708,881
為替換算調整勘定	△466,919	△218,746
退職給付に係る調整累計額	151,997	168,212
その他の包括利益累計額合計	△1,677,921	△1,469,755
新株予約権	72,268	73,636
純資産合計	26,632,592	27,617,379
負債純資産合計	34,124,830	36,085,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	16,481,869	19,691,211
売上原価	9,217,331	11,483,059
売上総利益	7,264,537	8,208,152
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	52,001	92,228
荷造運搬費	559,374	1,146,451
貸倒引当金繰入額	7,106	5,556
販売手数料	331,085	434,066
給料及び手当	2,333,329	2,434,690
賞与引当金繰入額	129,690	183,115
役員賞与引当金繰入額	22,500	18,370
退職給付費用	133,279	114,334
旅費及び交通費	192,200	231,255
減価償却費	345,496	403,500
研究開発費	404,928	347,030
その他	1,767,003	1,671,831
販売費及び一般管理費合計	6,277,996	7,082,431
営業利益	986,541	1,125,721
営業外収益		
受取利息	2,611	2,724
受取配当金	20,200	19,467
物品売却益	6,901	14,980
為替差益	4,107	42,126
補助金収入	53,988	55,446
保険解約返戻金	—	2,287
電力販売収益	19,118	18,153
その他	64,160	53,242
営業外収益合計	171,088	208,428
営業外費用		
支払利息	12,041	10,021
固定資産売却損	29	7,321
電力販売費用	8,366	7,454
その他	4,291	6,456
営業外費用合計	24,729	31,254
経常利益	1,132,900	1,302,895
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	7,646	—
固定資産売却益	684,706	—
特別利益合計	692,352	—
特別損失		
投資有価証券評価損	28,231	—
本社移転費用	101,523	—
特別損失合計	129,755	—
税金等調整前四半期純利益	1,695,498	1,302,895
法人税、住民税及び事業税	159,787	294,930
法人税等調整額	335,305	△240,897
法人税等合計	495,092	54,032
四半期純利益	1,200,405	1,248,863
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,200,405	1,248,863

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,200,405	1,248,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,752	△56,336
為替換算調整勘定	△146,115	248,172
退職給付に係る調整額	211	16,214
その他の包括利益合計	△114,151	208,050
四半期包括利益	1,086,254	1,456,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,086,254	1,456,913

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症による影響は現在も継続しており、景気動向への不透明感は依然として継続しております。

当社グループでは、業績は緩やかに回復すると仮定しているものの、収束時期の見通しには依然として不透明感が強いことから、今後も一定程度影響が続くとの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損損失計上要否等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について重要な変更はありませんが、仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,675,173	1,149,200	2,388,560	1,702,374	11,915,308
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,851,680	65,758	—	—	1,917,438
計	8,526,853	1,214,959	2,388,560	1,702,374	13,832,747
セグメント利益	1,317,380	37,039	247,416	624,703	2,226,538

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	4,205,468	361,091	4,566,560	16,481,869
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	70	70	1,917,509
計	4,205,468	361,162	4,566,631	18,399,379
セグメント利益	95,162	61,735	156,898	2,383,436

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ
- (3) アジア……………中国、タイ、インドネシア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,383,436
セグメント間取引消去	74,437
本社一般管理費(注)	△1,471,332
四半期連結損益計算書の営業利益	986,541

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,929,173	1,558,484	2,603,925	2,115,484	13,207,068
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,661,406	26,964	—	—	2,688,371
計	9,590,580	1,585,449	2,603,925	2,115,484	15,895,439
セグメント利益又は損失(△)	1,742,442	102,199	287,112	624,713	2,756,468

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	6,114,144	369,998	6,484,143	19,691,211
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,688,371
計	6,114,144	369,998	6,484,143	22,379,583
セグメント利益又は損失(△)	△285,135	58,118	△227,017	2,529,450

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、イギリス、フランス、アイルランド、イタリア
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾、タイ

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,529,450
セグメント間取引消去	△49,524
本社一般管理費（注）	△1,354,204
四半期連結損益計算書の営業利益	1,125,721

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	4,501,852	-	4,501,852
製パンライン等	4,968,983	-	4,968,983
修理その他	3,470,769	-	3,470,769
仕入商品	234,958	-	234,958
その他	30,506	-	30,506
食品等	-	6,484,143	6,484,143
顧客との契約から生じる収益	13,207,068	6,484,143	19,691,211
外部顧客への売上高	13,207,068	6,484,143	19,691,211

(重要な後発事象)

該当事項はありません。